

20m04HO提出課題例

# 教育技術をめぐる論争

教育方法論 m 第3回      テーマ「教育技術をめぐる論争」      1班

## (1) 「新しい時代の教育方法」から

全体の要点●向山洋一が「教育技術の法則化運動」というものを展開し「ワンウェイ」型の組織論の問題点を指摘しつつ、かつて「現代化」によって「技術主義」批判のもとに軽視されがちであった教育技術の追試、共有化を目指した。この法則化運動は斎藤喜博が提起した教育技術を批判し、また文芸教育研究協会との「教材研究と発問づくり」の関係をめぐっての論争を呼び起こした。

- ポイント1)大学における教育研究の観念性や、民間教育研究団体における授業研究の弱さ・欠落とその会の創設者がカリスマ化してその号令で会員に指示を広めることを「ワンウェイ型」という。
- 2)教育技術とは発問・指示・説明などである。
  - 3)向山に影響を受けて「教材」概念から「教授行為」を分離させ教育内容、教材、教授行為、学習者の4つのレベル・次元で授業をとらえるようになった。
  - 4)斎藤授業論は授業技術にこだわり子どもの全体に質的に働きかけるという授業の本質を見失う危険がある。

## (2) 「教育問題の解決方法を考える」から

全体の要点●斎藤は授業を芸術と同じような創造的行為と考えていた。必要ことは教師が「自分の教材解釈」をもち、「子どもが見える」ことである。教育は創造を重ねていけば、そのときどきに質の高い授業が生まれ、目をみはるような新鮮な子どもが生まれてくるという考えであった。

- ポイント1)授業を構成するのは「技術性」と「芸術性」である。
- 2)技術性とは教育は制作とみなす立場である。
  - 3)芸術性とは教育は行為とみなす立場である。
  - 4)「技術性」重視すると「芸術性」のもつ不透明さが批判され、「芸術性」を重視すると「芸術性」のもつ効率性が批判される。

## (3) その他のネット資料から長所・短所

全体の要点●「法則化」の問題点は有効であるとされる教育技術の根拠性が明確でないことや教育技術が授業者側の立場から論じられていないことが多く、児童の学習活動に対する考察・説明が十分にされていない。

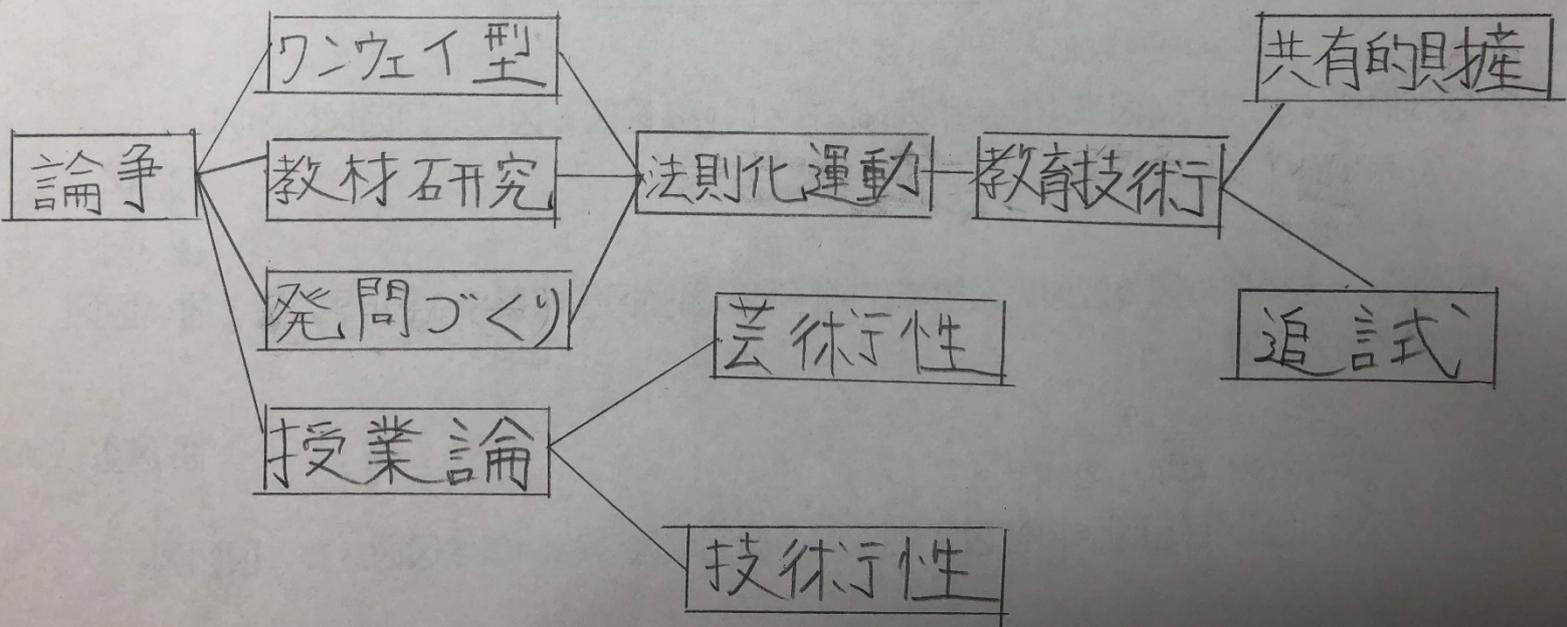
- ポイント1)この問題の基本的要因は、共有財産として集められた教育技術に対して論理的枠組みを持って考察していないこと。
- 2)授業実践段階での教材設定や教授・学習過程における児童生徒に対する具体的対応が軽視されているのではないか。

## (4) 自分の意見

全体の要点●近年、授業での具体的な教育技術に視点をあてて授業実践の改善として志向しているのが「教育技術の法則化運動」であるがその法則化運動にも問題点や批判がある。「教育技術の法則化運動」によって問題提起されたもの、あるいは「教育技術の法則化運動」自体が授業実践において実現可能であるかどうかを考える必要がある。

- ポイント1)教育理念や教育内容は授業実践レベルの事象により実現されるもの
- 2)教育技術を改善するためにはこれからも議論し続けることが必要

# 「教育技術をめぐる論争」



# 教育目標に関する基本的な考え方

教育方法論 m 第 4 回 テーマ「教育目標に関する基本的な考え方」2 班

(1) 「新しい時代の教育方法」から

全体の要点●教育方法の 4 つの構成要素、教育目標を設定、起源、特質、性格で見ていく

ポイント 教育方法の 4 つの構成要素

教育目標、教材・教具、授業家庭・学習形態、教育評価

1) 設定 内容…教科ごとに領域を区分

能力…手続き的知識・概念的理解の深化、調査課題の設計、歴史的展開

2) 起源 決定に関する 3 者

①背景となる学問の系統性

②子供の発達の順序性と構造

③現代における社会の要請

①+②⇒発達の事実の基づく学校の内容の構成

②+③⇒発達の前提(レディナス)に発達課題

3) 特質 到達目標…構造的に強化を考える。明確な評価基準のもとに各個人の達成度が評価

方向目標…領域一般的に広く形成され、その方向性が評価の対象

体験目標…授業プロセスにおいて体験として実現させる目標

4) 性格 教材・教具の選択や構成

学習過程や指導の開発方向づけ

教育評価 基準と方向を規定する点で規準性を持つ

明確化⇒子供のつまずきの発見が可能

結果⇒改善、修正を測ることができる

(2) ネットの論文

全体の要点●スコットの批判

1) 行動目標モデルを重視⇒認識論的な領域の排除

2) 行動目標モデルにおいて提案された知識の連続性の問題

⇒知識項目間における論理的関係と生徒が実際に学修する最適な方法とは相違し、区別をすることが必要

(3) ネットの論文(肯定)

全体の要点●ポファム⇒引用「行動目標の主要な利点は明確性をより一層促進させると言うことである」

ポイント

1) 行動目標の特徴を踏まえている

2) 教育システムの工夫

3) 適切な評価基準⇒テスト項目の抽象的な標準化を求めてはならない

(4)自分の意見

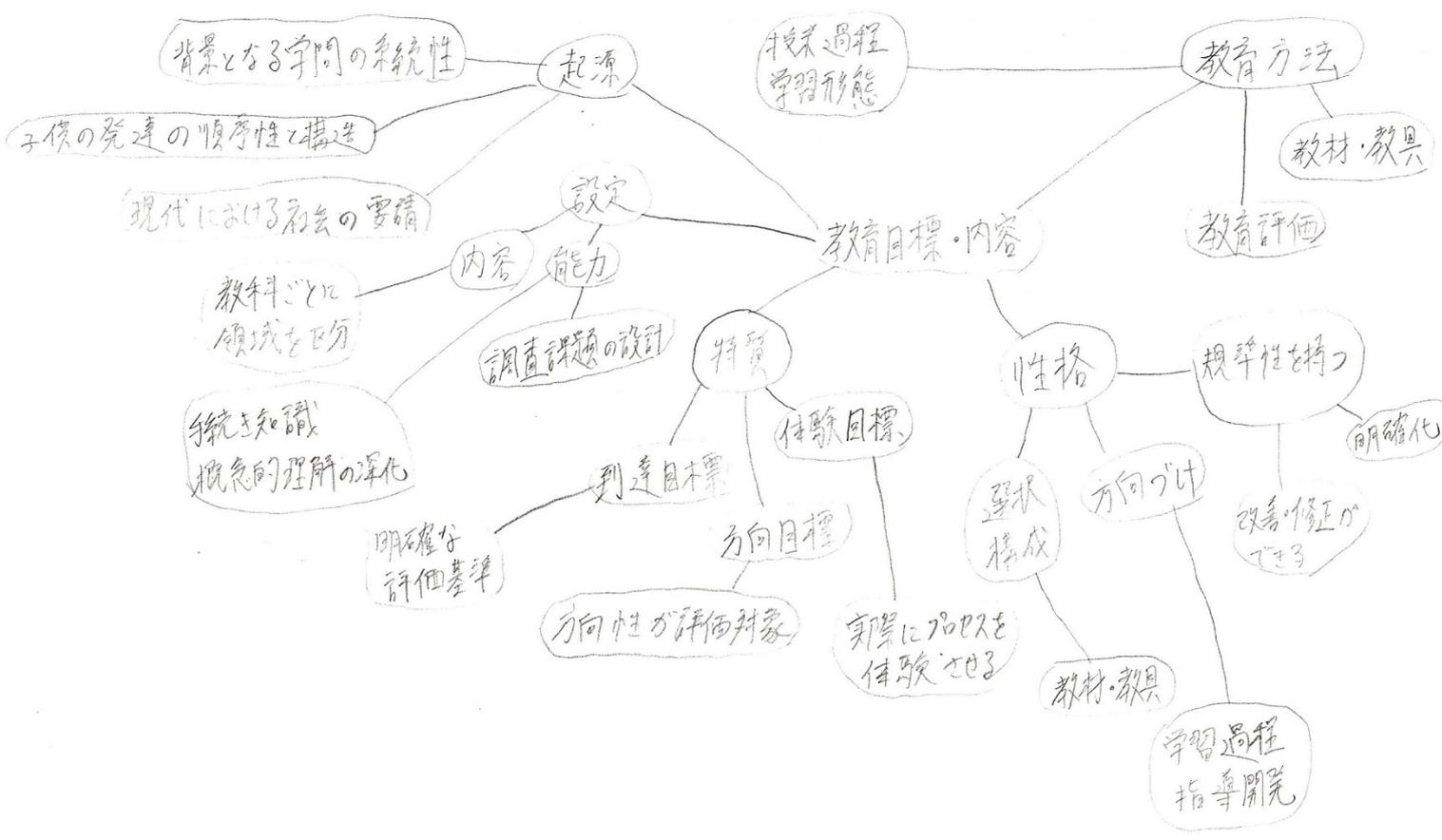
教育目標の特質で日本とイギリスは、同じような目標の立て方をしているが、厳密には少し違うので、土地柄によって勉強の良さもあるということが分かった。

また、大学では、当然のようにカリキュラムが存在し、公表されているが、この教育が良い悪い関係なく当然として考えてはいけないと感じた。

出典(文献名、url 等)

(1) 行動目標モデルのカリキュラム論とその批判

[http://www2.ngu.ac.jp/uri/jinbun/pdf/jinbun\\_vol4402\\_05.pdf](http://www2.ngu.ac.jp/uri/jinbun/pdf/jinbun_vol4402_05.pdf)



# 教育目標・内容の諸相

教育方法論 m 第4回

テーマ「教育目標・内容の諸相」

## (1) 「新しい時代の教育方法」から

全体の要点●教育目標には記憶や推理、想像といった一般能力を高めることをめざす形式陶冶説と、継承する文化等から知識や技能を蓄積することをめざす実質陶冶説があり主張が対立していたが、一般能力と数学等の学習との結びつきが証明できず形式陶冶説は支持されなかった。

- 1)学習内容の転移は形式陶冶ではなく、学習の仕方がもたらす。
- 2)子供が仮説を立てて、実験や観察を通じて検証する発見学習が提唱される。
- 3)学習科学では概念的理解が目的とされているが、他者との協調や学びの姿勢等の形成もめざしている。

## (2) 「17 中学校学習指導要領解説」「18 高等学校学習指導要領解説」等から

全体の要点●現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成し、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱を学習の目標及び内容として明確にしている。

教育目標を定めるにあたり

- 1)学校教育の実態やねらいを十分反映した具体性のある教育目標を設定することが必要。
- 2)教育的価値が高く、継続的な実践が可能なものであることが重要。
- 3) 教育委員会の規則、方針等に従っていること。

## (3) その他のネット資料から長所・短所

全体の要点●教育の目標を意識することで自分が何のために教えているのかという根拠を持てるため、しっかりと知っておくことが大切である。

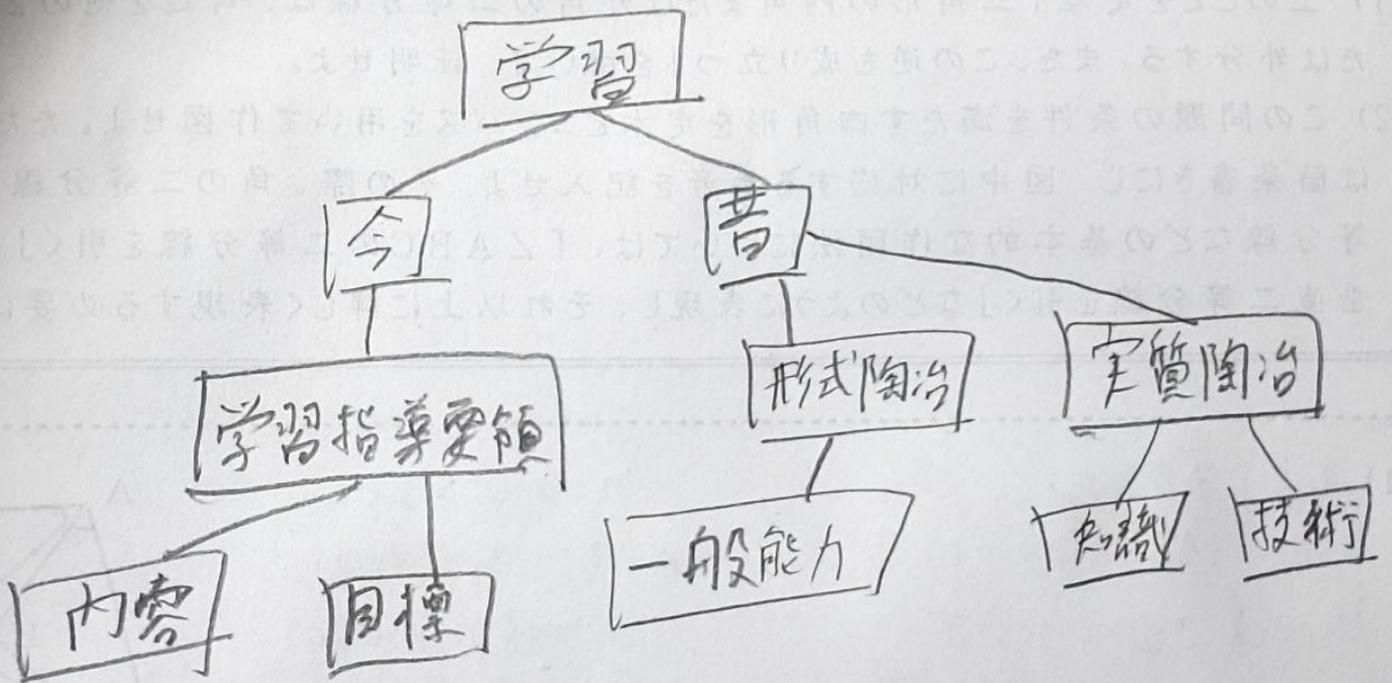
- 1)教育の目的は「人格の形成」である。
- 2)教育の目的・目標は「教育基本法」「学校教育法」「学習指導要領」によって明確に定められている。

## (4) 自分の意見

教育目標・内容は法によって明確に定められているが、昔から時代に合わせて変わりゆくものであるため、定められているからと思考停止するのではなく、生徒のためにどうすればいいのか模索するべきだと思った。

## (5) 出典(文献名、url 等)

- (1) 文部科学省(2017). 「中学校学習指導要領解説」. pp.47-48.
- (2) <https://kyouikunohouritu.com/category5/entry26.html>



# ICT活用例

## ICT 活用例

### 1. 単 元

(小学校 2 年 学級活動)

### 2. テーマ

小まつりを成功させよう 「おり紙の森」

### 3. ICT 活用のねらい

- ・実物投影機を使って、折り紙の折り方を人にわかりやすく教える
- ・折り方を操作する手元を映すことで、折り紙の正しい折り方を具体的に見ることができる

### 4. ICT 活用例

学習内容	指導過程・学習活動	指導上の留意点
ICT 活用の場面 ( )	ICT 活用の手順 ○導入 ・実物投影機の使い方を教える(電源、拡大、縮小の仕方) ・どんな折り紙を人に教えるのか班で話し合う  ○展開 ・実際に折る ・教える人が立つ位置はテレビの横にし、見る人が画面を見やすくする ・お客さんを前に、折り紙を折る  ○まとめ ・終わったらよかったこと、直した方がいいことを話し合う  イメージ図など 	○標準画面にすると、正方形が長方形に映らないことを教える ○折り紙が画面の中央にくるように、配置を動かすようにさせる  ○速く折ると、見えにくいいため、ポイントで止まるようにさせる
備考 使用教科書 「・・・」(〇〇社) 準備物 実物投影機 授業形態と工夫 班別		

### 5. 出典・参考等

- ・授業における ICT 活用実践事例

【<https://www.edogawaku.ed.jp/~edo-k-net/topfile/katuyoupdf/seisinlsict.pdf#page41>】

ICTの活用

実物投影機

留意点

おし紙の  
折り方を説明

包丁で食材の  
切り方を説明

教師からの  
指示が必要

説明時、見る側の  
気持ちを考慮

みんなが説明を  
見て聞ける

# 確認問題03

## 教育方法論 m

第 3 回

### 確認問題 03

(1) 問題解決学習論争において問われたポイントはなにか。2つ挙げよ。

- ・知識観と系統性
- ・問題解決の質

(2) 次の空欄を埋めよ。

(平岡亮蔵)の学力モデルは、態度を中心として、(理解)と技術、(知識)と技能の(三層)説  
(勝田守一)の学力モデルは、(認識能力)を重視した(計測能)学力説  
(中内敏夫)の学力モデルは、広義の(知識)が学習者によってこなされた状態を(習熟)と呼ぶ段階説

(3)「わかる授業」との対比で川合章が主張した「たのしい授業」の主張に込められた3つの意義を簡潔に述べよ。

- ・子どもたちを知識の受けてとして受動的にとらえたことの反省
- ・多様な学習形態を通じて学習を深める。
- ・集団の役割を果たす

(4)「学力における基礎についての4つの解釈」「第二次世界大戦後の新教育においてコア達が提起したこと」「いわゆる現代化の動向の主な主張」のうちの1つについて簡潔に述べよ。

- 「学力における基礎についての4つの解釈」
- ・3R's(読む、書く、計算する)としての基礎学力
  - ・教科内容としての基礎学力
  - ・教科内容としての基礎学力
  - ・学力構造における基礎部分としての基礎学力

「第二次世界大戦後の新教育において」の連が提起したこと

学習指導要領の主旨を合理的に実践するために、「中心課程」(3・3-7)を設定することが必要であるとして、従来の教科を配列する「周辺課程」の2課程を提起

いわゆる現代化の動向の主な主張は現代の科学技術に比して、学校で教えられている教育内容や教科内容時代遅れになっているという認識を基現代科学の内容と方法をもって、教育内容・教科内容をドラストックに再編すべきであり、かつその新しい教科内容は子どもたちにとっても学習可能であるという主張

\*\*) 確認問題 02 を自己評価し、気づいたこと、感じたことをのべよ

■ 5段階自己評価 ( 4 )

■

学習に対してより良くなるように、学力論争史の論者や提唱者によって、様々な論争をしたからこそ今日の学習に活かされているのだと知った。

